

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 香川県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	丸亀病院	3
-	白鳥病院	4
高松市	みんなの病院	5
高松市	市民病院塩江分院	6
坂出市	市立病院	7
さぬき市	さぬき市民病院	8
三豊市	永康病院	9
三豊市	西香川病院	10
土庄町	国保土庄中央病院	11
小豆島町	内海病院	12
綾川町	綾川町国民健康保険陶病院	13
三豊総合病院企業団	三豊総合病院	14
小豆島中央病院企業団	小豆島中央病院	15

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 香川県	
市町村・組合名					
病院名	中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	47,038 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	33	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	526	69.9	80.5	81.5
療養	-	-	-	-
結核	5	29.1	13.8	12.9
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	533	69.3	79.6	80.5
平均在院日数(一般病床のみ)		10.1	10.1	10.4

設立団体の状況		
人口(人)	950,244	
決算規模(千円)	478,524,231	
標準財政規模(千円)	261,686,857	
財政力指数	0.48747	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	197.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,117,252			
1 経常収益	23,788,711			
(1) 医業収益	18,076,447			
入院収益	11,691,711			
外来収益	5,418,021			
診療収入計	17,109,732			
その他医業収益	966,715			
(うち他会計負担金)	470,138			
(2) 医業外収益	5,712,264			
(うち国・都道府県補助金)	3,203,903			
(うち他会計補助・負担金)	1,557,678			
(うち長期前受金戻入)	668,560			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	328,541			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,361,920			
2 経常費用	22,034,355			
(1) 医業費用	20,986,595			
職員給与費	10,953,942	60.6	62.1	55.8
材料費	6,028,026	33.3	25.3	29.8
(うち薬品費)	2,661,820	14.7	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,363,343	18.6	11.4	13.0
減価償却費	1,288,317	7.1	9.5	8.7
経費	2,629,577	14.5	22.7	19.7
(うち委託料)	1,691,995	9.4	12.6	12.6
研究研修費	76,679			
資産減耗費	10,054			
(2) 医業外費用	1,047,760			
(うち支払利息)	209,396	1.2	1.3	1.2
(3) 特別損失	327,565			
損益				
経常損益	1,754,356			
純損益	1,755,332			
累積欠損金	-			
経常収支比率	108.0		101.9	102.5
医業収支比率	86.1		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	8.5		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	11.2		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	8.4		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	98.8		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	29,529,560
1 固定資産	20,493,890
(1) 有形固定資産	19,476,023
(2) 無形固定資産	5,035
(3) 投資その他の資産	1,012,832
2 流動資産	9,035,670
(1) 現金及び預金	4,117,681
(2) 未収金及び未収収益	4,597,436
(3) 貸倒引当金()	31,147
(4) 貯蔵品	332,095
3 繰延資産	-
負債合計	27,337,963
1 固定負債	20,229,697
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,329,542
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	180,378
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,719,777
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,595,465
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,233,279
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	87,949
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	882,138
(6) リース債務	4,627
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,272,802
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,512,801
(1) 長期前受金	9,417,425
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,904,624
資本合計	2,191,597
1 資本金	6,177,497
2 剰余金	-3,985,900
(1) 資本剰余金	199,607
(2) 利益剰余金	-4,185,507
負債・資本合計	29,529,560
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.9
修正医業収益(千円)	17,606,309

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,241,073	2,027,816
資本勘定繰入	559,303	596,117
計	2,800,376	2,623,933

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	19.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				香川県	
市町村・組合名					
病院名 丸亀病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,946 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	6	指定病院の状況	臨感 輪		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	215	42.4	44.4	49.0
感染症	-	-	-	-
計	215	42.4	44.4	49.0
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	950,244	
決算規模(千円)	478,524,231	
標準財政規模(千円)	261,686,857	
財政力指数	0.48747	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	197.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,825,222			
1 経常収益	1,619,537			
(1) 医業収益	910,015			
入院収益	583,382			
外来収益	281,997			
診療収入計	865,379			
その他医業収益	44,636			
(うち他会計負担金)	19,100			
(2) 医業外収益	709,522			
(うち国・都道府県補助金)	137,292			
(うち他会計補助・負担金)	533,003			
(うち長期前受金戻入)	28,026			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	205,685			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,793,389			
2 経常費用	1,767,989			
(1) 医業費用	1,724,107			
職員給与費	1,194,144	131.2	62.1	104.8
材料費	179,812	19.8	25.3	8.7
(うち薬品費)	159,915	17.6	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,095	2.1	11.4	1.3
減価償却費	81,895	9.0	9.5	13.5
経費	265,955	29.2	22.7	33.3
(うち委託料)	153,554	16.9	12.6	18.6
研究研修費	1,823			
資産減耗費	478			
(2) 医業外費用	43,882			
(うち支払利息)	1,122	0.1	1.3	2.7
(3) 特別損失	25,400			
損益				
経常損益	-148,452			
純損益	31,833			
累積欠損金	3,671,947			
経常収支比率	91.6		101.9	101.4
医業収支比率	52.8		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	34.1		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	60.7		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	30.2		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	60.4		89.3	66.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	29,529,560
1 固定資産	20,493,890
(1) 有形固定資産	19,476,023
(2) 無形固定資産	5,035
(3) 投資その他の資産	1,012,832
2 流動資産	9,035,670
(1) 現金及び預金	4,117,681
(2) 未収金及び未収収益	4,597,436
(3) 貸倒引当金()	31,147
(4) 貯蔵品	332,095
3 繰延資産	-
負債合計	27,337,963
1 固定負債	20,229,697
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,329,542
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	180,378
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,719,777
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,595,465
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,233,279
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	87,949
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	882,138
(6) リース債務	4,627
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,272,802
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,512,801
(1) 長期前受金	9,417,425
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,904,624
資本合計	2,191,597
1 資本金	6,177,497
2 剰余金	-3,985,900
(1) 資本金剰余金	199,607
(2) 利益剰余金	-4,185,507
負債・資本合計	29,529,560
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	51.7
修正医業収益(千円)	890,915

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	731,903	552,103
資本勘定繰入	18,984	21,410
計	750,887	573,513

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	19.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 香川県	
市町村・組合名					
病院名	白鳥病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,342 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	148	56.6	61.9	66.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	148	56.6	61.9	66.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	17.9	19.5

設立団体の状況		
人口(人)	950,244	
決算規模(千円)	478,524,231	
標準財政規模(千円)	261,686,857	
財政力指数	0.48747	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	197.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.4
修正医業収益(千円)	2,025,401

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,006,269			
1 経常収益	2,936,870			
(1) 医業収益	2,072,375			
入院収益	1,315,479			
外来収益	652,480			
診療収入計	1,967,959			
その他医業収益	104,416			
(うち他会計負担金)	46,974			
(2) 医業外収益	864,495			
(うち国・都道府県補助金)	387,122			
(うち他会計補助・負担金)	336,060			
(うち長期前受金戻入)	130,018			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	69,399			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,110,761			
2 経常費用	3,057,934			
(1) 医業費用	2,918,828			
職員給与費	1,673,287	80.7	62.1	67.4
材料費	477,655	23.0	25.3	17.7
(うち薬品費)	162,543	7.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	314,814	15.2	11.4	8.8
減価償却費	254,812	12.3	9.5	10.7
経費	503,554	24.3	22.7	29.2
(うち委託料)	269,766	13.0	12.6	13.9
研究研修費	4,928			
資産減耗費	4,592			
(2) 医業外費用	139,106			
(うち支払利息)	49,072	2.4	1.3	1.5
(3) 特別損失	52,827			
損益				
経常損益	-121,064			
純損益	-104,492			
累積欠損金	2,157,414			
経常収支比率	96.0		101.9	100.3
医業収支比率	71.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	13.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	18.5		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.7		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	83.5		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	29,529,560
1 固定資産	20,493,890
(1) 有形固定資産	19,476,023
(2) 無形固定資産	5,035
(3) 投資その他の資産	1,012,832
2 流動資産	9,035,670
(1) 現金及び預金	4,117,681
(2) 未収金及び未収収益	4,597,436
(3) 貸倒引当金()	31,147
(4) 貯蔵品	332,095
3 繰延資産	-
負債合計	27,337,963
1 固定負債	20,229,697
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,329,542
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	180,378
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,719,777
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,595,465
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,233,279
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	87,949
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	882,138
(6) リース債務	4,627
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,272,802
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,512,801
(1) 長期前受金	9,417,425
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,904,624
資本合計	2,191,597
1 資本金	6,177,497
2 剰余金	-3,985,900
(1) 資本金剰余金	199,607
(2) 利益剰余金	-4,185,507
負債・資本合計	29,529,560
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	406,664	383,034
資本勘定繰入	146,599	149,429
計	553,263	532,463

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	19.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				香川県	
市町村・組合名	高松市				
病院名	みんなの病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,300 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨 感へ災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	299	75.5	83.3	68.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	3.6
感染症	6	52.6	0.6	0.5
計	305	75.1	81.7	61.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	13.3	14.4

設立団体の状況		
人口(人)	417,496	
決算規模(千円)	213,138,099	
標準財政規模(千円)	96,861,010	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	74.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,219,490			
1 経常収益	8,911,797			
(1) 医業収益	7,114,758			
入院収益	4,705,030			
外来収益	1,568,312			
診療収入計	6,273,342			
その他医業収益	841,416			
(うち他会計負担金)	557,812			
(2) 医業外収益	1,797,039			
(うち国・都道府県補助金)	831,196			
(うち他会計補助・負担金)	663,432			
(うち長期前受金戻入)	275,008			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	307,693			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,822,589			
2 経常費用	8,648,539			
(1) 医業費用	8,255,397			
職員給与費	4,569,385	64.2	62.1	63.5
材料費	1,405,774	19.8	25.3	24.9
(うち薬品費)	691,620	9.7	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	714,154	10.0	11.4	11.8
減価償却費	1,021,711	14.4	9.5	10.0
経費	1,237,352	17.4	22.7	21.7
(うち委託料)	716,997	10.1	12.6	12.2
研究研修費	12,922			
資産減耗費	8,253			
(2) 医業外費用	393,142			
(うち支払利息)	77,162	1.1	1.3	1.4
(3) 特別損失	174,050			
損益				
経常損益	263,258			
純損益	396,901			
累積欠損金	13,343,344			
経常収支比率	103.0		101.9	101.7
医業収支比率	86.2		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	13.7		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	17.2		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	13.2		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	88.9		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,342,556
1 固定資産	17,780,581
(1) 有形固定資産	16,699,182
(2) 無形固定資産	2,656
(3) 投資その他の資産	1,078,743
2 流動資産	3,561,975
(1) 現金及び預金	1,627,470
(2) 未収金及び未収収益	1,832,126
(3) 貸倒引当金()	10,025
(4) 貯蔵品	112,354
3 繰延資産	-
負債合計	21,157,258
1 固定負債	17,770,697
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,849,626
(2) その他の企業債	2,011
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,726,000
(6) 引当金	2,193,060
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,368,488
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	473,028
(2) その他の企業債	1,991
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	39,000
(5) 引当金	330,657
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,387,058
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,018,073
(1) 長期前受金	2,190,785
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,172,712
資本合計	185,298
1 資本金	13,951,091
2 剰余金	-13,765,793
(1) 資本金剰余金	136,573
(2) 利益剰余金	-13,902,366
負債・資本合計	21,342,556
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.4
修正医業収益(千円)	6,556,946

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,339,042	1,221,244
資本勘定繰入	370,066	380,178
計	1,709,108	1,601,422

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	185.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				香川県	
市町村・組合名	高松市				
病院名	市民病院塩江分院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,621 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	へ		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	87	34.7	34.9	48.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	87	34.7	34.9	48.6
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	417,496	
決算規模(千円)	213,138,099	
標準財政規模(千円)	96,861,010	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	74.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	53.2
修正医業収益(千円)	366,252

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	833,440			
1 経常収益	825,677			
(1) 医業収益	366,252			
入院収益	174,359			
外来収益	182,138			
診療収入計	356,497			
その他医業収益	9,755			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	459,425			
(うち国・都道府県補助金)	6,633			
(うち他会計補助・負担金)	446,780			
(うち長期前受金戻入)	2,109			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,763			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	713,145			
2 経常費用	706,039			
(1) 医業費用	687,988			
職員給与費	492,997	134.6	62.1	78.9
材料費	84,083	23.0	25.3	15.6
(うち薬品費)	65,469	17.9	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	11,228	3.1	11.4	6.0
減価償却費	12,386	3.4	9.5	11.7
経費	97,303	26.6	22.7	31.2
(うち委託料)	37,450	10.2	12.6	14.3
研究研修費	1,105			
資産減耗費	114			
(2) 医業外費用	18,051			
(うち支払利息)	906	0.2	1.3	1.7
(3) 特別損失	7,106			
損益				
経常損益	119,638			
純損益	120,295			
累積欠損金	559,022			
経常収支比率	116.9		101.9	100.3
医業収支比率	53.2		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	54.1		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	122.0		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	53.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	53.7		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,342,556
1 固定資産	17,780,581
(1) 有形固定資産	16,699,182
(2) 無形固定資産	2,656
(3) 投資その他の資産	1,078,743
2 流動資産	3,561,975
(1) 現金及び預金	1,627,470
(2) 未収金及び未収収益	1,832,126
(3) 貸倒引当金()	10,025
(4) 貯蔵品	112,354
3 繰延資産	-
負債合計	21,157,258
1 固定負債	17,770,697
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,849,626
(2) その他の企業債	2,011
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,726,000
(6) 引当金	2,193,060
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,368,488
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	473,028
(2) その他の企業債	1,991
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	39,000
(5) 引当金	330,657
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,387,058
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,018,073
(1) 長期前受金	2,190,785
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,172,712
資本合計	185,298
1 資本金	13,951,091
2 剰余金	-13,765,793
(1) 資本金剰余金	136,573
(2) 利益剰余金	-13,902,366
負債・資本合計	21,342,556
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	303,976	446,780
資本勘定繰入	10,019	10,019
計	313,995	456,799

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	185.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				香川県	
市町村・組合名	坂出市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	15,888 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨感へ輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	190	72.3	80.1	76.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	66.0	7.9	-
計	194	72.2	78.6	76.5
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	11.2	11.4

設立団体の状況		
人口(人)	50,624	
決算規模(千円)	29,960,132	
標準財政規模(千円)	13,775,579	
財政力指数	0.84	
経常収支比率(%)	86.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	82.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,107,885			
1 経常収益	5,999,866			
(1) 医業収益	5,332,559			
入院収益	2,970,564			
外来収益	2,107,767			
診療収入計	5,078,331			
その他医業収益	254,228			
(うち他会計負担金)	86,164			
(2) 医業外収益	667,307			
(うち国・都道府県補助金)	323,576			
(うち他会計補助・負担金)	217,279			
(うち長期前受金戻入)	110,922			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	108,019			
(うち他会計繰入金)	4,354			
総費用	6,149,641			
2 経常費用	6,048,802			
(1) 医業費用	5,725,943			
職員給与費	2,686,236	50.4	62.1	67.4
材料費	1,711,751	32.1	25.3	17.7
(うち薬品費)	1,095,373	20.5	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	616,378	11.6	11.4	8.8
減価償却費	446,000	8.4	9.5	10.7
経費	875,874	16.4	22.7	29.2
(うち委託料)	474,834	8.9	12.6	13.9
研究研修費	4,939			
資産減耗費	1,143			
(2) 医業外費用	322,859			
(うち支払利息)	64,022	1.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	100,839			
損益				
経常損益	-48,936			
純損益	-41,756			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.2		101.9	100.3
医業収支比率	93.1		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	5.1		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	5.7		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	5.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	94.2		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,268,247
1 固定資産	6,159,959
(1) 有形固定資産	5,690,822
(2) 無形固定資産	609
(3) 投資その他の資産	468,528
2 流動資産	5,108,288
(1) 現金及び預金	3,125,513
(2) 未収金及び未収収益	791,296
(3) 貸倒引当金()	2,335
(4) 貯蔵品	15,278
3 繰延資産	-
負債合計	8,165,707
1 固定負債	6,079,918
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,179,857
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	900,061
(7) リース債務	-
2 流動負債	886,847
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	347,032
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	164,276
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	338,103
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,198,942
(1) 長期前受金	2,252,942
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,054,000
資本合計	3,102,540
1 資本金	2,011,253
2 剰余金	1,126,008
(1) 資本金剰余金	8,592
(2) 利益剰余金	1,117,416
負債・資本合計	11,268,247
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.6
修正医業収益(千円)	5,246,395

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	401,167	307,797
資本勘定繰入	180,514	180,514
計	581,681	488,311

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 香川県	
市町村・組合名	さぬき市				
病院名	さぬき市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	14,884 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	175	72.2	77.4	83.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	26.1	3.6	-
計	179	71.1	75.8	81.5
平均在院日数(一般病床のみ)		18.3	18.5	16.7

設立団体の状況		
人口(人)	47,003	
決算規模(千円)	31,781,618	
標準財政規模(千円)	15,501,853	
財政力指数	0.40	
経常収支比率(%)	92.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.8
修正医業収益(千円)	3,780,799

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,092,070			
1 経常収益	4,981,902			
(1) 医業収益	3,937,922			
入院収益	2,099,343			
外来収益	1,501,418			
診療収入計	3,600,761			
その他医業収益	337,161			
(うち他会計負担金)	157,123			
(2) 医業外収益	1,043,980			
(うち国・都道府県補助金)	592,425			
(うち他会計補助・負担金)	256,046			
(うち長期前受金戻入)	121,797			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	110,168			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,064,711			
2 経常費用	4,941,643			
(1) 医業費用	4,736,371			
職員給与費	2,808,875	71.3	62.1	67.4
材料費	970,038	24.6	25.3	17.7
(うち薬品費)	549,438	14.0	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	387,738	9.8	11.4	8.8
減価償却費	298,187	7.6	9.5	10.7
経費	643,059	16.3	22.7	29.2
(うち委託料)	298,160	7.6	12.6	13.9
研究研修費	11,893			
資産減耗費	4,319			
(2) 医業外費用	205,272			
(うち支払利息)	38,822	1.0	1.3	1.5
(3) 特別損失	123,068			
損益				
経常損益	40,259			
純損益	27,359			
累積欠損金	2,379,678			
経常収支比率	100.8		101.9	100.3
医業収支比率	83.1		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	8.3		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.5		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	8.1		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	92.5		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,377,161
1 固定資産	5,866,672
(1) 有形固定資産	4,791,729
(2) 無形固定資産	4,363
(3) 投資その他の資産	1,070,580
2 流動資産	1,510,489
(1) 現金及び預金	542,100
(2) 未収金及び未収収益	935,139
(3) 貸倒引当金()	1,248
(4) 貯蔵品	31,295
3 繰延資産	-
負債合計	4,951,504
1 固定負債	2,909,798
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,509,798
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	400,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	777,852
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	281,833
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	174,507
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	296,184
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,263,854
(1) 長期前受金	2,579,892
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,316,038
資本合計	2,425,657
1 資本金	4,749,085
2 剰余金	-2,323,428
(1) 資本金剰余金	3,650
(2) 利益剰余金	-2,327,078
負債・資本合計	7,377,161
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	323,189	413,169
資本勘定繰入	88,225	88,225
計	411,414	501,394

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	60.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			香川県
市町村・組合名	三豊市		
病院名	永康病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	8,843 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	12	指定病院の状況	救臨へ輪
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	50	63.6	61.7	33.4
療養	48	46.4	38.2	38.9
結核	-	-	-	-
精神	59	32.4	39.1	46.4
感染症	-	-	-	-
計	157	46.6	46.0	38.6
平均在院日数(一般病床のみ)		28.0	27.5	27.0

設立団体の状況		
人口(人)	61,857	
決算規模(千円)	42,267,434	
標準財政規模(千円)	20,691,305	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	97.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.9
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	59.7
修正医業収益(千円)	896,172

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,331,209			
1 経常収益	1,322,400			
(1) 医業収益	1,046,282			
入院収益	584,300			
外来収益	249,293			
診療収入計	833,593			
その他医業収益	212,689			
(うち他会計負担金)	150,110			
(2) 医業外収益	276,118			
(うち国・都道府県補助金)	10,032			
(うち他会計補助・負担金)	212,220			
(うち長期前受金戻入)	21,791			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,809			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,645,926			
2 経常費用	1,637,016			
(1) 医業費用	1,501,414			
職員給与費	885,615	84.6	62.1	67.4
材料費	146,999	14.0	25.3	17.7
(うち薬品費)	83,444	8.0	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	63,555	6.1	11.4	8.8
減価償却費	53,619	5.1	9.5	10.7
経費	391,631	37.4	22.7	29.2
(うち委託料)	141,159	13.5	12.6	13.9
研究研修費	23,380			
資産減耗費	170			
(2) 医業外費用	135,602			
(うち支払利息)	3,007	0.3	1.3	1.5
(3) 特別損失	8,910			
損益				
経常損益	-314,616			
純損益	-314,717			
累積欠損金	354,467			
経常収支比率	80.8		101.9	100.3
医業収支比率	69.7		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	27.4		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	34.6		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	27.2		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	58.6		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,648,855
1 固定資産	3,442,055
(1) 有形固定資産	3,427,832
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	14,223
2 流動資産	1,206,800
(1) 現金及び預金	982,449
(2) 未収金及び未収収益	219,413
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,816
3 繰延資産	-
負債合計	2,387,515
1 固定負債	1,151,782
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,151,782
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	600,238
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	128,020
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	67,980
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	397,618
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	635,495
(1) 長期前受金	2,182,806
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,547,311
資本合計	2,261,340
1 資本金	393,468
2 剰余金	1,867,872
(1) 資本金剰余金	1,653,526
(2) 利益剰余金	214,346
負債・資本合計	4,648,855
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	362,330	362,330
資本勘定繰入	36,273	220,873
計	398,603	583,203

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				香川県	
市町村・組合名	三豊市				
病院名	西香川病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	11,789 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	3	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	25:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	90	94.4	97.3	97.7
結核	-	-	-	-
精神	60	96.8	96.5	97.5
感染症	-	-	-	-
計	150	95.3	97.0	97.6
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	61,857	
決算規模(千円)	42,267,434	
標準財政規模(千円)	20,691,305	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	97.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	235,535			
1 経常収益	220,465			
(1) 医業収益	1,744			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	1,744			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	218,721			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	186,023			
(うち長期前受金戻入)	32,624			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	15,070			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	205,426			
2 経常費用	190,356			
(1) 医業費用	182,712			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	71,898	4122.6	9.5	10.7
経費	110,242	6321.2	22.7	29.2
(うち委託料)	108,132	6200.2	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	572			
(2) 医業外費用	7,644			
(うち支払利息)	7,644	438.3	1.3	1.5
(3) 特別損失	15,070			
損益				
経常損益	30,109			
純損益	30,109			
累積欠損金	-			
経常収支比率	115.8		101.9	100.3
医業収支比率	1.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	84.4		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	10666.5		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	79.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	18.1		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,648,855
1 固定資産	3,442,055
(1) 有形固定資産	3,427,832
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	14,223
2 流動資産	1,206,800
(1) 現金及び預金	982,449
(2) 未収金及び未収収益	219,413
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,816
3 繰延資産	-
負債合計	2,387,515
1 固定負債	1,151,782
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,151,782
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	600,238
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	128,020
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	67,980
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	397,618
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	635,495
(1) 長期前受金	2,182,806
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,547,311
資本合計	2,261,340
1 資本金	393,468
2 剰余金	1,867,872
(1) 資本金剰余金	1,653,526
(2) 利益剰余金	214,346
負債・資本合計	4,648,855
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.0
修正医業収益(千円)	1,744

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	186,023	186,023
資本勘定繰入	16,012	16,012
計	202,035	202,035

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		香川県	
市町村・組合名	土庄町		
病院名	国保土庄中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	12,846	
決算規模(千円)	11,722,921	
標準財政規模(千円)	5,059,214	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	91.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.0
	将来負担比率(%)	46.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,302			
1 経常収益	10,302			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	10,302			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	10,302			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,302			
2 経常費用	10,302			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	-	-	9.5	10.7
経費	-	-	22.7	29.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	10,302			
(うち支払利息)	10,302	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	-		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	6,868	10,302
資本勘定繰入	33,546	50,319
計	40,414	60,621

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		香川県	
市町村・組合名	小豆島町		
病院名	内海病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	13,870	
決算規模(千円)	11,771,652	
標準財政規模(千円)	5,682,100	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	93.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	42,400			
1 経常収益	42,400			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	42,400			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	42,400			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	42,400			
2 経常費用	42,400			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	-	-	9.5	10.7
経費	-	-	22.7	29.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	42,400			
(うち支払利息)	42,400	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	-		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	28,183	42,400
資本勘定繰入	156,132	240,513
計	184,315	282,913

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				香川県	
市町村・組合名	綾川町				
病院名	綾川町国民健康保険陶病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,157 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	臨へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	35	79.4	82.0	83.0
療養	28	71.4	74.8	80.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	63	75.8	78.8	81.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.9	15.7	17.7

設立団体の状況		
人口(人)	22,693	
決算規模(千円)	13,625,900	
標準財政規模(千円)	6,933,920	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	82.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-2.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,256,564			
1 経常収益	1,249,588			
(1) 医業収益	1,140,697			
入院収益	492,798			
外来収益	544,246			
診療収入計	1,037,044			
その他医業収益	103,653			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	108,891			
(うち国・都道府県補助金)	7,408			
(うち他会計補助・負担金)	70,000			
(うち長期前受金戻入)	10,095			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,976			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,234,618			
2 経常費用	1,227,643			
(1) 医業費用	1,155,547			
職員給与費	713,063	62.5	62.1	78.9
材料費	113,662	10.0	25.3	15.6
(うち薬品費)	58,464	5.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	55,198	4.8	11.4	6.0
減価償却費	70,956	6.2	9.5	11.7
経費	249,056	21.8	22.7	31.2
(うち委託料)	128,826	11.3	12.6	14.3
研究研修費	1,784			
資産減耗費	7,026			
(2) 医業外費用	72,096			
(うち支払利息)	16,640	1.5	1.3	1.7
(3) 特別損失	6,975			
損益				
経常損益	21,945			
純損益	21,946			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.8		101.9	100.3
医業収支比率	98.7		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	5.6		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	6.1		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	5.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	96.1		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,737,014
1 固定資産	1,211,425
(1) 有形固定資産	1,211,425
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,525,589
(1) 現金及び預金	2,342,743
(2) 未収金及び未収収益	178,662
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,184
3 繰延資産	-
負債合計	1,092,887
1 固定負債	770,864
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	770,864
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	163,861
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,126
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	45,434
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	37,911
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	158,162
(1) 長期前受金	358,104
(2) 長期前受金収益化累計額()	199,942
資本合計	2,644,127
1 資本金	1,590,616
2 剰余金	1,053,511
(1) 資本金剰余金	4,047
(2) 利益剰余金	1,049,464
負債・資本合計	3,737,014
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	98.7
修正医業収益(千円)	1,140,697

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	76,297	70,000
資本勘定繰入	54,646	-
計	130,943	70,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				香川県	
市町村・組合名	三豊総合病院企業団				
病院名	三豊総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透 未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	46,828 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	458	74.4	79.7	81.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	21.4	5.2	4.0
計	462	73.9	79.1	80.8
平均在院日数(一般病床のみ)		14.3	14.1	13.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.1
修正医業収益(千円)	10,046,711

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,747,541			
1 経常収益	12,502,816			
(1) 医業収益	10,788,954			
入院収益	6,542,904			
外来収益	3,225,258			
診療収入計	9,768,162			
その他医業収益	1,020,792			
(うち他会計負担金)	742,243			
(2) 医業外収益	1,713,862			
(うち国・都道府県補助金)	1,116,584			
(うち他会計補助・負担金)	83,416			
(うち長期前受金戻入)	76,355			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	244,725			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,195,353			
2 経常費用	11,976,404			
(1) 医業費用	11,410,233			
職員給与費	6,377,375	59.1	62.1	59.8
材料費	2,594,346	24.0	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,273,530	11.8	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,233,852	11.4	11.4	12.4
減価償却費	851,009	7.9	9.5	8.2
経費	1,535,342	14.2	22.7	19.2
(うち委託料)	895,910	8.3	12.6	10.2
研究研修費	48,945			
資産減耗費	3,216			
(2) 医業外費用	566,171			
(うち支払利息)	40,202	0.4	1.3	1.2
(3) 特別損失	218,949			
損益				
経常損益	526,412			
純損益	552,188			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.4		101.9	103.7
医業収支比率	94.6		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	6.6		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	7.7		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	6.5		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	97.5		89.3	93.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	28,679,243
1 固定資産	19,112,741
(1) 有形固定資産	9,801,346
(2) 無形固定資産	8,429
(3) 投資その他の資産	9,302,966
2 流動資産	9,566,502
(1) 現金及び預金	7,012,485
(2) 未収金及び未収収益	2,466,369
(3) 貸倒引当金()	7,955
(4) 貯蔵品	95,603
3 繰延資産	-
負債合計	5,311,085
1 固定負債	2,335,441
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,675,938
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	659,503
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,547,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	179,113
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	458,790
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	866,892
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,428,303
(1) 長期前受金	3,415,846
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,987,543
資本合計	23,368,158
1 資本金	15,618,000
2 剰余金	7,750,158
(1) 資本金剰余金	191,230
(2) 利益剰余金	7,558,928
負債・資本合計	28,679,243
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,473,712	825,659
資本勘定繰入	339,357	-
計	1,813,069	825,659

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				香川県	
市町村・組合名	小豆島中央病院企業団				
病院名	小豆島中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	17,850 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救臨感へ災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	194	64.5	69.9	65.0
療養	31	76.7	75.0	65.1
結核	5	10.2	5.1	12.2
精神	-	-	-	-
感染症	4	7.7	-	-
計	234	64.1	68.2	62.8
平均在院日数(一般病床のみ)		14.2	12.5	12.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.8
修正医業収益(千円)	3,213,832

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,727,929			
1 経常収益	4,573,047			
(1) 医業収益	3,283,832			
入院収益	1,770,033			
外来収益	1,243,792			
診療収入計	3,013,825			
その他医業収益	270,007			
(うち他会計負担金)	70,000			
(2) 医業外収益	1,289,215			
(うち国・都道府県補助金)	566,950			
(うち他会計補助・負担金)	405,621			
(うち長期前受金戻入)	181,093			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	154,882			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,520,703			
2 経常費用	4,422,436			
(1) 医業費用	4,128,959			
職員給与費	2,259,210	68.8	62.1	66.1
材料費	602,739	18.4	25.3	19.8
(うち薬品費)	306,829	9.3	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	253,091	7.7	11.4	9.3
減価償却費	513,881	15.6	9.5	10.2
経費	748,686	22.8	22.7	28.2
(うち委託料)	279,043	8.5	12.6	13.6
研究研修費	4,004			
資産減耗費	439			
(2) 医業外費用	293,477			
(うち支払利息)	11,619	0.4	1.3	1.6
(3) 特別損失	98,267			
損益				
経常損益	150,611			
純損益	207,226			
累積欠損金	1,083,936			
経常収支比率	103.4		101.9	99.9
医業収支比率	79.5		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	10.4		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	14.5		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	10.1		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	92.7		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,694,099
1 固定資産	6,218,014
(1) 有形固定資産	5,712,319
(2) 無形固定資産	10,628
(3) 投資その他の資産	495,067
2 流動資産	1,476,085
(1) 現金及び預金	310,663
(2) 未収金及び未収収益	990,472
(3) 貸倒引当金()	656
(4) 貯蔵品	31,988
3 繰延資産	-
負債合計	5,302,226
1 固定負債	2,712,866
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,046,823
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	180,000
(6) 引当金	482,912
(7) リース債務	3,131
2 流動負債	567,792
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	102,182
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	119,773
(6) リース債務	783
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	184,422
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,021,568
(1) 長期前受金	2,985,095
(2) 長期前受金収益化累計額()	963,527
資本合計	2,391,873
1 資本金	3,475,809
2 剰余金	-1,083,936
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,083,936
負債・資本合計	7,694,099
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	745,364	475,621
資本勘定繰入	93,363	15,449
計	838,727	491,070

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。